

学校行事参加型＋講演会型＋在宅取組型（中学校）

学校名等	瑞穂市立穂積中学校
実施日時	平成28年10月30日(日)10:30～15:00
会場	穂積中学校体育館及び各教室
参加人数	全校生徒(午前中)、保護者約100名(午後)
学習課題(分野)	子どもの「生きる力」を育む弁当の日(食育)
運営者の願い	ツクール Day's(手作り弁当の日)に込められた願い “親の見守りが、自ら考え作る力を育てる”ことを知り、 家族の会話やふれあいを生み出してほしい。

平成28年10月30日
穂積中学校 PTA
会長 麓英里 三人
副会長 廣瀬 仁美

日曜会館
ツクール Day's
～手作り弁当の日～

PTA講演会

子どもの「生きる力」を育む弁当の日

講師 麓英里さん

日時 10月30日(日)
14:00～15:30 授業参観後

場所 穂積中学校 体育館

麓英里さんプロフィール
穂積中学校 PTA副会長
PTA連合会副会長
瑞穂市立穂積中学校 PTA会長
PTA 成人教育委員会

「弁当の日に込められた願い、
あなたに受けていましたか？
大切にしたいのは、子供が食を
作り出すことの『学び』です。」

学習の内容

<日程の工夫、講師>

三部形式。①生徒への講演会、②お弁当の日、③PTAへの講演会。
講師は、元本校PTA副会長で、「ツクール Day's」の創始者の一人であった麓英里さん。



卵焼きにハート♥を入れた



<講演会>

「生きる」ということは、「食べる」こと。たくさんの「命」をいただくということ。日本で収穫される米(1000トン)の2倍分の食物を捨てている現実からも、食べ物の向こう側の「命」を見つめた。

7年前に「ツクール Day's」(手作り弁当の日)を始めた願いを知った。

- ◎「弁当の日」のルールは、「親は手伝わない」「子どもは自分ひとりで作る」。
- ◎子どもは「食」を通して多くのことに気づき、学び、考えるようになり、「生きる力」をつけていく。

卵焼きと海苔を切つてのせた。



◇卒業生の生の声「今思うこと」：高1男子

高校生になると弁当か購買で買う。弁当の日で朝早く作る大変さを知っているので、ありがたいと思える。おにぎり1個しか持って行かない時もあったが、友達に分けてくれて、よい関係作りもできた。今は、野菜作りもして食材のありがたさも実感。友達と料理(ローストビーフ、餃子など)を作り合うのが遊びになり、コミュニケーションともなっておりありがたい。

最後に、平原綾香の「おひさま～大切なあなたへ～」の歌と映像で、「弁当の日」を通して子どもの成長を見守ることの大切さを確認し合った。「食」は自立心・自己肯定感・コミュニケーション力・親子の絆・生きる力を育むことができる。日々の暮らしの中で、大人が変われば子どもが変わる。

<生徒:成長したと思うこと>

- ◇卵焼きが一人のできるようになり、キッチンに立つことが好きになった。
- ◇いつもおいしいものを作ってもらい、食べさせてもらい感謝している。
- ◇自慢できることは、切ることで、自分でも上手になったと思う。
- ◇ハンバーグができるようになった。自分のできる喜びがある。

シチュー(左)と焼肉のたれをかけて焼いた肉。



<保護者の感想より>

- ☆卒業生の話がとても心に響いた。将来このような考え方に変われるとはすばらしい。食べることは生きること「弁当の日」が今後も続くことを願っている。
- ☆我が子(男)は、料理を作る職につきたいと頑張っている。受験があるにもかかわらず、毎日夕飯の準備を手伝ってくれる。これも「弁当の日」のおかげかもしれない。彼の夢が叶うといいなと思っている。
- ☆今日は前より、段取りよく、ほぼ一人で弁当を作った。「ママがいなくても、一人で生きていける力をつけて」と励ましている。食事作りは生きる力そのものだ。



★「ツクール Day's」に込められた願いを知る
⇒生きる力を育む
手作り弁当の日
○自分ひとりで作る
○「食」を通して、気づき、学び、考える



★「ツクール Day's」の願いを親子で共通理解する



- ・創始者であった講師
- ・生徒も保護者も聴く
- ・卒業生の生の声を聴く